

2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年4月11日

上場会社名 ユナイテッド&コレクティブ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3557 URL <http://www.united-collective.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 坂井 英也  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 坂本 拓光 (TEL) 050-3091-3557  
 定時株主総会開催予定日 2025年5月30日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の業績 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	6,492	5.2	115	118.4	87	123.7	59	—
2024年2月期	6,168	15.3	52	—	38	—	△91	—

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	8.93	8.88	225.4	2.2	1.8
2024年2月期	△30.74	—	—	0.9	0.8

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 ー百万円 2024年2月期 ー百万円

(注) 1. 2024年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。  
 2. 2024年2月期の自己資本当期純利益率につきましては、自己資本がマイナスであるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	3,974	342	7.9	△57.80
2024年2月期	3,929	△261	△7.3	△212.59

(参考) 自己資本 2025年2月期 314百万円 2024年2月期 △289百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	122	△237	46	1,480
2024年2月期	159	17	△127	1,548

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2026年2月期の配当予想は未定といたします。

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,816	4.9	150	29.7	122	40.6	73	22.9	10.70

（注）2026年2月期（予想）の1株当たり当期純利益は、第10回新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数より算出しております。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期	4,489,300 株	2024年2月期	3,954,300 株
② 期末自己株式数	2025年2月期	180 株	2024年2月期	180 株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	4,218,954 株	2024年2月期	3,651,338 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

ウクライナ情勢の長期化、円安の進行、物価高騰などがわが国の経済活動に大きな影響を与えており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

外食産業では、原材料・食材・エネルギーの仕入価格の上昇に加え、生産年齢人口の減少やスポットワーカーの増加が進み、原材料費・人件費・水道光熱費といった店舗運営コストが引き続き増加しており、厳しい経営環境が続いています。

このような状況の中、当社では通期での黒字達成と債務超過の解消を目指し、緩やかな新規出店を進めるとともに、売上の回復と収益性の向上を図りながら、COVID-19以前よりも筋肉質な経営を実現すべく、徹底したコスト管理に取り組んでいます。「てけてけ」業態においては、2ヶ月に1度の頻度でメニューを改廃し、グルメサイト等による販促施策を強化するなど、物価高騰による影響を価格転嫁のみに依存しないよう集客施策に取り組んでまいりました。「the 3rd Burger」業態においては、定期的に期間限定メニューを導入するなど、ブランド力の向上に努めてまいりました。また、一部既存店の業態転換を進め、新業態「もつ焼き酒場てけてけ」を9店舗まで拡大し、売上回復を図りました。当事業年度は「西船橋もつ焼き酒場てけてけ」「恵比寿 新太郎」の2店舗の新規出店を行い、1店舗を退店したことで、当事業年度末における店舗数は81店舗（前年同期比1店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は6,492,053千円（前年同期比5.2%増）となり、売上総利益は4,861,558千円（前年同期比3.9%増）、営業利益は115,594千円（前年同期比118.4%増）、経常利益は87,048千円（前年同期比123.7%増）、当期純利益は59,751千円（前年同期は当期純損失91,056千円）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は3,974,430千円となり、前事業年度末と比較して45,100千円の増加となりました。これは主に、流動資産が16,113千円減少した一方、固定資産が61,217千円が増加したこと等によるものであります。

また、当事業年度末の負債総額は3,631,975千円となり、前事業年度末と比較して558,556千円の減少となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が496,250千円減少したこと等によるものであります。

当事業年度末の純資産は342,455千円となり、前事業年度末と比較して603,657千円の増加となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ271,731千円、利益剰余金が当期純利益により59,751千円増加したこと等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前事業年度末と比較して68,583千円減少し、1,480,160千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における営業活動による資金の増加は122,243千円（前事業年度は159,905千円の増加）となりました。これは、税引前当期純利益66,833千円、未払消費税等の減少額90,080千円、減価償却費210,672千円の計上等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における投資活動による資金の減少は237,370千円（前事業年度は17,037千円の増加）となりま

した。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出237,876千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における財務活動による資金の増加は46,544千円（前事業年度は127,353千円の減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出667,550千円となった一方、新株予約権の行使による株式の発行による収入542,795千円、長期借入金による収入が171,300千円あったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率(%)	0.4	6.2	△18.1	△7.3	7.9
時価ベースの自己資本比率(%)	66.4	68.4	98.1	112.0	108.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	20.2	4.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	6.9	4.6

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注3) 2021年2月期及び2022年2月期、2023年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2026年2月期につきましては、引き続き原材料・食材・エネルギー等の仕入価格の高騰・生産年齢人口の減少など、予断を許さない状況が続くと考えております。

そのような店舗運営コストの上昇が続く環境下において、引き続き「PPM (Preparation Process Management)」戦略や既存店売上向上の取り組み等を推進するとともに、サービスの向上を目指すことにより顧客満足度を高め、お客様に選んでいただける店舗を目指します。

以上から、2026年2月期の業績につきましては、売上高6,816百万円、営業利益150百万、経常利益122百万円、当期純利益73百万円を計画しております。なお、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は記載の見通しとは異なる場合がございます。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2024年8月31日をもって債務超過を解消し、2025年2月期の通期において59,751千円の当期純利益を計上しております。また、今後の資金繰り計画においても、金融機関からの継続的支援を得ており、事業継続上の重要な不確実性は認められません。これらの状況を踏まえ、当社は本決算において「継続企業の前提に関する重要事象等」は存在しないと判断しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,548,743	1,480,160
売掛金	222,635	237,030
商品及び製品	43,588	52,720
原材料及び貯蔵品	10,528	11,457
前払費用	119,711	126,101
その他	16,165	37,784
流動資産合計	1,961,372	1,945,255
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,366,763	2,498,105
減価償却累計額	△1,357,887	△1,446,112
建物(純額)	1,008,875	1,051,992
工具、器具及び備品	448,158	478,571
減価償却累計額	△344,858	△370,059
工具、器具及び備品(純額)	103,300	108,511
有形固定資産合計	1,112,175	1,160,504
無形固定資産		
ソフトウェア	16,257	11,712
その他	72	72
無形固定資産合計	16,330	11,785
投資その他の資産		
出資金	30	30
長期前払費用	12,472	19,183
敷金及び保証金	785,417	784,911
繰延税金資産	41,106	52,336
その他	424	424
投資その他の資産合計	839,451	856,886
固定資産合計	1,967,957	2,029,175
資産合計	3,929,330	3,974,430

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	225,510	247,778
1年内返済予定の長期借入金	654,928	467,705
未払金	113,784	155,460
未払費用	172,944	174,591
前受金	10,909	6,622
未払法人税等	68,096	51,267
未払消費税等	116,201	26,121
預り金	25,942	23,732
賞与引当金	16,072	15,405
株主優待引当金	32,739	39,816
資産除去債務	226	-
流動負債合計	1,437,357	1,208,500
固定負債		
長期借入金	2,589,806	2,281,065
長期前受金	123,246	102,930
長期預り保証金	3,000	3,000
資産除去債務	37,122	36,478
固定負債合計	2,753,174	2,423,474
負債合計	4,190,531	3,631,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,165	642,896
資本剰余金		
資本準備金	1,062,443	1,334,174
その他資本剰余金	1,241,277	1,241,277
資本剰余金合計	2,303,720	2,575,452
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,963,467	△2,903,715
利益剰余金合計	△2,963,467	△2,903,715
自己株式	△432	△432
株主資本合計	△289,013	314,200
新株予約権	27,811	28,254
純資産合計	△261,201	342,455
負債純資産合計	3,929,330	3,974,430



(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	6,168,634	6,492,053
売上原価		
商品期首棚卸高	41,706	43,588
当期商品仕入高	1,495,923	1,639,626
合計	1,537,630	1,683,215
商品期末棚卸高	43,588	52,720
売上原価合計	1,494,041	1,630,494
売上総利益	4,674,592	4,861,558
販売費及び一般管理費	4,621,675	4,745,964
営業利益	52,917	115,594
営業外収益		
受取利息	14	821
受取配当金	0	0
システム導入負担金収入	7,570	-
雑収入	3,575	373
営業外収益合計	11,160	1,195
営業外費用		
支払利息	22,856	26,303
株式交付費	716	308
その他	1,599	3,129
営業外費用合計	25,172	29,741
経常利益	38,905	87,048
特別利益		
資産除去債務戻入益	18,042	-
新株予約権戻入益	-	2,910
固定資産売却益	8,447	1,500
特別利益合計	26,489	4,410
特別損失		
減損損失	130,731	-
助成金返還損	-	20,428
店舗閉鎖損失	53,693	4,197
特別損失合計	184,425	24,625
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△119,030	66,833
法人税、住民税及び事業税	19,557	18,310
法人税等調整額	△47,531	△11,229
法人税等合計	△27,973	7,081
当期純利益又は当期純損失(△)	△91,056	59,751

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2023年3月1日 至2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		資本剰余金 合計		
		資本準備金	その他資本剰 余金	繰越利益 剰余金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	93,085	784,363	1,241,277	2,025,641	△2,882,858	△2,882,858	△432	△764,563	
会計方針の変更による 累積的影響額					10,447	10,447		10,447	
会計方針の変更を反映し た当期首残高	93,085	784,363	1,241,277	2,025,641	△2,872,411	△2,872,411	△432	△754,117	
当期変動額									
新株の発行	278,079	278,079		278,079				556,159	
当期純利益又は当期純 損失(△)					△91,056	△91,056		△91,056	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	278,079	278,079		278,079	△91,056	△91,056		465,103	
当期末残高	371,165	1,062,443	1,241,277	2,303,720	△2,963,467	△2,963,467	△432	△289,013	

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	21,260	△743,302
会計方針の変更による 累積的影響額		10,447
会計方針の変更を反映し た当期首残高	21,260	△732,855
当期変動額		
新株の発行		556,159
当期純利益又は当期純 損失(△)		△91,056
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	6,550	6,550
当期変動額合計	6,550	471,653
当期末残高	27,811	△261,201

当事業年度(自2024年3月1日 至2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		繰越利益 剰余金		
		資本準備金	その他資本剰 余金	資本剰余金 合計	利益剰余金 合計				
当期首残高	371,165	1,062,443	1,241,277	2,303,720	△2,963,467	△2,963,467	△432	△289,013	
会計方針の変更による 累積的影響額									
会計方針の変更を反映し た当期首残高	371,165	1,062,443	1,241,277	2,303,720	△2,963,467	△2,963,467	△432	△289,013	
当期変動額									
新株の発行	271,731	271,731		271,731				543,462	
当期純利益又は当期純 損失(△)					59,751	59,751		59,751	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	271,731	271,731		271,731	59,751	59,751		603,214	
当期末残高	642,896	1,334,174	1,241,277	2,575,452	△2,903,715	△2,903,715	△432	314,200	

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	27,811	△261,201
会計方針の変更による 累積的影響額		
会計方針の変更を反映し た当期首残高	27,811	△261,201
当期変動額		
新株の発行		543,462
当期純利益又は当期純 損失(△)		59,751
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	443	443
当期変動額合計	443	603,657
当期末残高	28,254	342,455

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失 (△)	△119,030	66,833
減価償却費	223,948	210,672
株式報酬費用	5,710	4,020
株式交付費	716	308
システム導入負担金収入	△7,570	-
雑収入	△3,575	△373
固定資産売却益	△8,447	△1,500
減損損失	130,731	-
資産除去債務戻入益	△18,042	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,072	△666
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	2,651	7,076
受取利息及び受取配当金	△14	△822
支払利息	22,856	26,303
新株予約権戻入益	-	△2,910
助成金返還損	-	20,428
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,451	△14,394
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,288	△10,061
前払費用の増減額 (△は増加)	6,216	△6,390
立替金の増減額 (△は増加)	△398	△21,505
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,460	22,267
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,566	△90,080
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	47,201	△15,830
未払金の増減額 (△は減少)	4,225	17,229
未払費用の増減額 (△は減少)	△12,148	1,646
預り金の増減額 (△は減少)	563	△2,209
前受金の増減額 (△は減少)	△14,577	△4,287
長期前受金の増減額 (△は減少)	△22,293	△19,715
その他	△16,493	△18,634
小計	165,457	167,403
利息及び配当金の受取額	14	695
利息の支払額	△23,922	△26,303
補償金の受取額	31,912	-
システム導入負担金収入の受取額	7,570	-
法人税等の支払額	△21,126	△19,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,905	122,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△79,829	△237,656
無形固定資産の取得による支出	△12,930	△220
資産除去債務の履行による支出	△28,650	-
敷金及び保証金の差入による支出	△3,027	△12,874
敷金及び保証金の回収による収入	133,027	13,380
その他	8,447	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,037	△237,370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	171,300
長期借入金の返済による支出	△684,673	△667,550
新株予約権の行使による株式の発行による収入	557,319	542,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,353	46,544
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	49,588	△68,583
現金及び現金同等物の期首残高	1,499,154	1,548,743
現金及び現金同等物の期末残高	1,548,743	1,480,160

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	△212.59円	△57.80円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△30.74円	8.93円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	8.88円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△30.74円	8.93円
(算定上の基礎)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△91,056	59,751
普通株主に帰属しない金額(千円)	21,216	22,064
(うち優先配当額(千円))		
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	△112,272	37,687
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,651	4,218
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	8.88円
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	23,250
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(第10回新株予約権の行使による増資)

2025年3月1日から2025年4月11日の間に第10回新株予約権の行使が行われており、当該新株予約権の行使により発行した株式の概要は以下の通りであります。

- ① 行使新株予約権の個数 680個
- ② 資本金の増加額 29,463千円
- ③ 資本準備金の増加額 29,463千円
- ④ 増加した株式の種類及び株数 普通株式 68,000株

以上の結果、2025年4月11日現在の発行株式総数は4,557,300株、資本金は672,359千円、資本準備金は1,363,637千円となっております。